

我が校の強み弱み分析・評価シート

《全国学力学習状況調査（2023/4/18 6年生対象）による本校の強みと弱み》

【学習にかかわること 国語】

【強みと弱み】

「知識・技能」の領域では、滋賀県の平均よりも0.6ポイント上回りました。漢字を文の中で正しく使うこと、原因と結果など文と文の関係を理解することについて強みが見られました。

「話すこと・聞くこと」の領域は、滋賀県の平均よりも5.3ポイント下回りました。記述式の問題に弱みが見られました。目的や意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることを問う問題に課題があることがわかりました。

【学習にかかわること 算数】

【強みと弱み】

「数と計算」の領域では、滋賀県平均よりも2.2ポイント下回りました。わり算の筆算について、図を基に各段階の商の意味を考えることに課題が見られました。しかし、基本的な計算や式を場面と関連づけて読み取る問題には強みが見られました。

「図形」の領域では、滋賀県平均よりも6ポイント下回りました。台形・正三角形の意味や性質、三角形の底辺と面積の関係についての理解に課題があることがわかりました。しかし、正方形の意味や性質についての理解に強みが見られました。

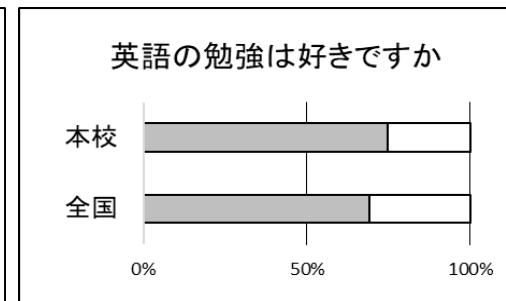
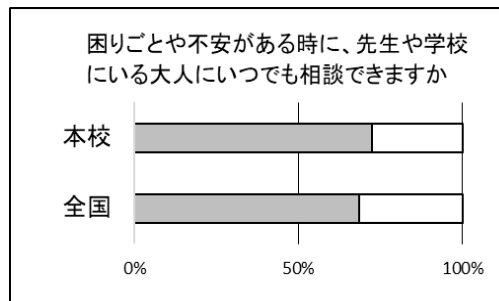
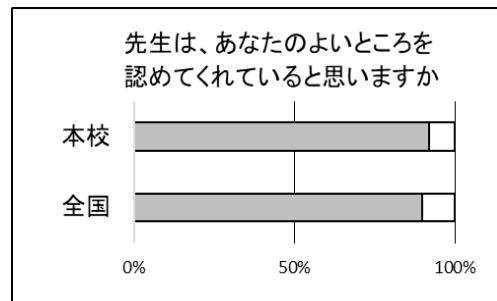
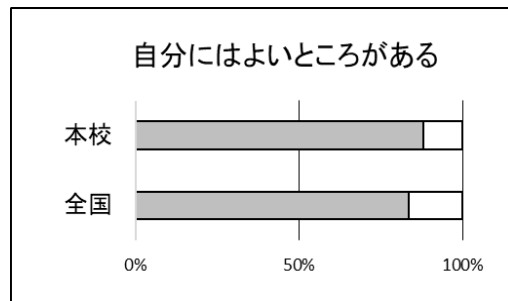
【全国学力・学習状況調査をもとにした重点取り組み事項】

○学校での授業改善

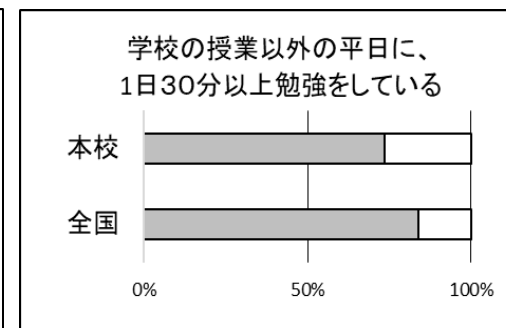
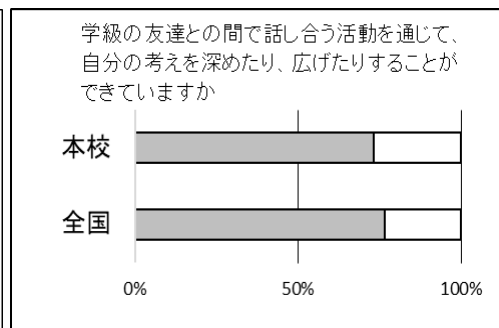
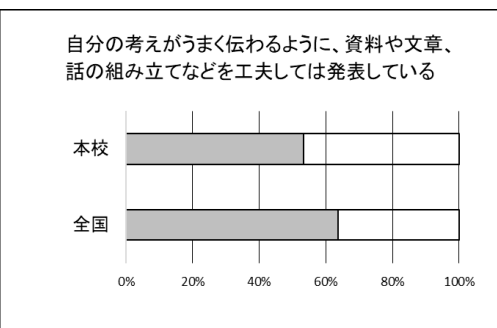
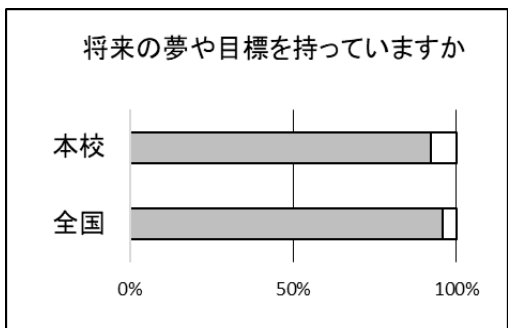
- ・ どの教科においても、学習の「めあて」の提示と学習の「ふりかえり」を行うことにより、課題意識を持って学習に取り組めるようにします。
- ・ 校内研究で「言語力を高め、自ら学び考える子の育成」を進め、魅力的な教材作り、発問の工夫など、授業作りに力を入れます。
- ・ 学学調査の分析を行い、苦手な単元を中心に年間10回、月曜日の6校時に算数の習熟タイムを設けます。
- ・ 2・3年生については、算数の少人数指導を取り入れます。

【生活に関わること】

強み



弱み



【強み】

本校は、道徳・人権教育に力を入れて取り組んでいることや教員が子どものよさを認め伝えていることが、児童の自己肯定感が高いことにつながっていると考えられます。教育相談週間や月1回の生活アンケートを行っていることが、子どもがいつでも困りごとや不安を教員に相談できることにつながったのだと考えられます。また、外国語の学習では、担任とALTが連携して楽しい授業を行うことができおり、英語を楽しみにしている児童が多いと考えられます。

【弱み】

自分の考えが相手にうまく伝わるように工夫して発表したり、友達との間で話し合ったりする活動に弱みが見られます。授業の中で、ペアやグループで話し合う活動をどの教科についても取り入れていきます。また、年間指導計画に外部の講師を活用した学習を積極的に取り入れ、様々な立場の大人と関わることで、将来の夢や目標を持てるようにしていきます。家庭での学習の方法や内容を伝えるため、家庭学習の手引きをHPに掲載します。